

【事業実績】

地区の獅子舞の歴史や特色を調査し、獅子舞に関わった人の思いを聴き、体験や交流等の活動を通して、若い世代が庄東地区の獅子舞文化に触れることができ、これからの文化継承の契機とした。

1、庄東の獅子舞フォーラムの開催 令和6年9月23日（月・祝）参加者90名

(1)講演会『砺波地方に広がる獅子舞』 東京文化財研究所 久保田 裕道先生

全国的な視点から砺波地方の百足獅子の特徴を示していただき獅子舞の理解が深まった。また獅子舞や祭りの継承を進めるポイントとして、止めてしまうのではなく、積極的に変えていくことの重要性を具体的に紹介していただいた。



(2)獅子舞フォーラム

獅子舞団体の代表者が各地区の獅子舞の特徴と獅子舞行事の負担軽減化の取り組み事例を紹介した。また参加者からは祭りを継承させていく方法や地区外からの参加者を呼び込む手立てなどの様々な質問・提言があった。



このフォーラムの内容をとりまとめた報告書を作成し、関係者及び関係団体に配布した。

2、獅子舞関連の体験事業

(1)獅子舞の道具や笛・太鼓などの体験 令和6年9月23日（月・祝）参加者10名

実際に獅子舞で使用する道具を手に取り、棒や長刀に触れ、指導者に手を添えてもらいながら棒を振ったり、回したりできたことはとても楽しかったようである。また丁寧に太鼓の打ち方の指導を受けた子供もいた。



(2)獅子舞に親しむ製作体験 令和6年9月23日（月・祝）参加者31名

段ボールを使用した獅子頭と獅子頭の絵付けをした木製皿の製作体験を通して獅子舞への親しみを深める活動を行った。段ボール獅子頭が完成するとすぐに舞う動作をする子供が多く、興味関心を育む体験だった。また皿の絵付け体験では庄東地区の獅子頭の写真をよく見て製作しており、地区の獅子舞の特徴に気づき、獅子に親しむ機会となった。



(3)祭り料理の調理体験と映像記録 令和6年9月28日（土）参加者5名

昭和50年代まで各家庭で作られていた伝統的な祭り料理を紹介し、地域文化への理解を深めるために調理お体験して、伝統料理の製作記録映像を制作した。

記録した調理過程は砺波正倉にて公開 <https://1073shoso.jp/www/index.jsp>



参加者の声

- 昔は親が作っていたが、自分は作り方を知らなかったので、今回よく分かってよかった。
- 最近の祭りにはオードブルを取るの自分で作るのは無かった。昔の伝統がすたれないように受継いでいくことは大切ですね。

3、庄東の獅子舞のパンフレット作成

(1)調査を生かした「庄東の獅子舞パンフレット」の作成

「庄東の獅子舞パンフレット」を作成して庄東地区の全戸に配付。また、観光案内所や公民館などにも配布した。



4、庄東の獅子舞調査

(1)獅子舞についての調査

古文書等の文献調査、古い獅子舞演舞の写真・映像・音声等の収集、個別の聴き取り調査などを行った。

(2)獅子舞を語る懇談会 令和6年7月5日(金)、12日(金)参加者のべ57名

地区別の懇談会では、獅子舞団体の代表者や獅子舞 OB、地区公民館関係者が集まり、獅子舞の踊り方の特徴や獅子舞の伝習元の聞き取りなどを行った。

庄東地区の獅子舞には「にらみ獅子」と「踊り獅子」の2つの系統があること、また庄東地区の金蔵獅子は江戸時代の終わりに旧山田村から多数伝わったことなどが分かった。



(3)調査のまとめと報告

獅子舞の歴史資料として調査結果をまとめ、報告・公開した。3,(1)、6,(1)

5、庄東の獅子舞の紹介と獅子舞の映像記録制作

(2)獅子舞見学会の実施 令和6年11月3日(日・祝)参加者10名

借り上げバスで庄東地区の神社や公民館、祝花が上がる家など5カ所を廻る見学ツアーを実施。

また、見学会に併せてコミュニティー施設での獅子舞共演会が開催され、地域の獅子舞の盛り上げの一助となった。



参加者の声

- それぞれの舞や獅子を比較できたのがよかった。今後もバスツアー形式のものがあれば良い。
- これまで何気なく見ていた獅子舞の見る観点を教えてもらい、数倍も楽しかった。

(3)庄東の獅子舞の映像記録制作

撮影機材を用いて獅子舞演舞を2方向から撮影。映像はアーカイブ化。また獅子舞映像鑑賞用に編集して、各施設へ配布した。5,(4)

(4)保育施設、学校施設などでの獅子舞映像放映 令和7年2月5日(水)、10日(月)、13日(木)参加者のべ144名

庄東小学校や庄東認定こども園など学校、保育施設で庄東の獅子舞映像の鑑賞会を実施した。自分の集落以外の獅子舞を初めて見たという子どもが多く、次世代を担う子どもたちの獅子舞への関心を高めることができた。



参観児童の声

- ほかの地区の獅子舞を見てぜんぜんちがうなと思いました。
- 刀を使ってカッコよく獅子に向かって対抗しているのがとてもよかった。

6、地区公民館などでの獅子舞展示

(1)地区公民館での獅子舞展示 令和6年9月29日(日)、11月3日(日・祝)、10日(日)来館者約700名

庄東地区の11の獅子舞についての演目・道具・踊りの特徴を記録してパネルを作成。また庄東地区から旧射水郡に伝わった獅子舞や太田・木下から庄東地区に伝えられた獅子舞も紹介し公民館まつりに展示。



(2)砺波民具展示室での展示 令和6年9月23日(月・祝)～11月3日(日・祝)来館者208名

「^{かしら}頭が語る砺波の獅子舞展」として民具展示室所蔵の獅子頭・獅子舞衣装などを展示し、砺波の獅子舞の特徴を紹介する展示を行った。また展示には獅子頭を多面的に見るARコンテンツも設置した。



7、獅子舞、祭りのARコンテンツ制作

獅子舞や祭りに係わるARコンテンツとして、3D画像が360°回転する獅子頭、囃子が再生される楽器、祭り料理が表示される漆のお膳を制作。6,(2)での展示後、民具展示室にて常設展示。

